



かんれい

学校だより 第19号

発行 函嶺白百合学園小学校
足柄下郡箱根町強羅 1320
Tel 0460(87)6611
発行日 平成25年6月25日

あいさつ

副校長 廣瀬節枝

私が函嶺白百合学園に在籍した年月は、もうすでに生家より、どこの場所よりも長い年月になりました。私は幼いころよりこの学園で育ちました。実はかなりのやんちゃ児童で、マ・スール、先生方も手をやいたことと確信しております。マ・スール方にも先生方にもよく叱られました。でも、学校に行きたくないと思った記憶がありません。それは、叱られ反省した後、「あなたは本当はいい子なのよ。」というマ・スールの言葉がけがあったからです。厳しさの根底にあるあたたかさを今もずっと感じています。私が受けたあたたかさを児童たちにも伝えていきたいと思います。

さて、この「かんれい」が今号より生まれかわりました。学級通信などですでに掲載された記事もございますが、他学年の活動もご覧いただけます。どうぞ、よろしく願いいたします。

はじめての うんどうかい！ 1年生

5/18 お待ちかねの運動会。すんだ空！まぶしい太陽！文句なしの運動会日和！今年の1年生は晴れ女。きっとお母様方は、腕によりをかけてのお弁当づくりに早朝から大忙しだったことでしょう。8時40分。体操服と短パンに着替え終わった子どもたちは、ソワソワと興奮状態。運動会前のうれしさと緊張とが混ざったあの何とも言えない気持ちは、お父様、お母様も何度となく味わっていらっしゃると思います。諸注意の後、勇ましいかけ声とともに元気いっぱい教室を出て行きました。競技に応援にかいっぱいがんばりました。「先生、わたくし、がんばれたことがうれしいです」という言葉にうんうんとうなずく顔は一樣にすがすがしく、やりきった充実感にあふれていました。



保護者のみなさまにもご活躍いただき、ありがとうございました。そして、お疲れさまでした。だるま運びでは、1年生よりお父様・お母様の方が熱が入っていたような……。毎年保護者の方から「もう1回やりたい」という声が聞こえてくるこの競技。楽しんでいただけでしょうか。また、綱引きにご出場くださったみなさま、1回戦勝利おめでとうございます！正に手に汗にぎる熱い戦い。お父様とお母様の闘志に1年生の心もひとつになった瞬間でした。6年生になったら応援団長になりたい子が続出し、2週間たった今も時々応援歌が聞こえてきます。初めての運動会は1年生の心をギュッとつかんだようです。

～田うえたいけん～

2年生

午後からは、Tシャツと短パンに着替えて、田植え体験開始！ 最初に農協の方から、田植えの仕方や苗がどのようにできるかなどについての説明を受けました。そして、いよいよ田んぼの中に…。一人が勇気を振りしぼって、はだして踏み入ると、「ワー、キャー。」の叫び声が！ 不安を抱きつつ、それ

を見ていた他の子どもたちも、恐る恐る田んぼの中に入りました…。ほとんどの子は、田んぼの中に入るという経験がなかったため、初めての泥の感触に叫び声が続きます。落ち着きを取り戻し、少しずつ苗を植えていきましたが、今度は足が泥の中に埋まって抜けないお友だちが…。どんどん沈んで、足のほとんどが泥の中に埋まってしまおう子まで出てきました。自力では脱出不可能なので、お互いに助け合うことになり、“ひっぱり合い”が始まりました。しかし、助けようとした本人までも道づれになり、結末はご想像の通り…。 “泥パック”も初体験することになりました。

初めての田植え体験は、昔の人の生活に思いを馳せる良い機会になりました。田植えのことを思い出すことで、今まで以上に食べ物を大切にしていきたいですね！

ダングンのびる!!

— 3年生 —

3年生にとっては、新しい教科の「理科」。4月から、たくさんの自然にふれ、学んでまいりました。モンシロチョウは、卵からチョウチョウまで育て上げました。カブトムシはいまサナギになっています。ヒマワリとホウセンカは、ポリポットにたねをまき、なえを育てています。

6月17日（月）、空は晴れ。雨が続くこの時期ですから、ここそとばかりにヒマワリとホウセンカのなえを学年の花だんに植え替えました。大切にそだててきたヒマワリとホウセンカのなえ。くきを折らないように、ていねいにポリポットからぬき出すと、ポットいっぱい広がった根が見えました。「みんな、しっかりそだってきたんだね」と、まずはひと安心。移植ごてで、花だんにあなをほり、根をいためないよう土ごとなえをそとあなの中に入れます。手で



やさしく ぎゅっぎゅっと土をおさえました。ヒマワリは、背がたかくのびるので、支柱をたててひもでささえました。そして、最後に水やり。3年生のみなさま、これからもかんさつとお世話をしっかりお願いいたします。

ますます暑くなるこれからの季節、3年生のみなさまにも負けないいきおいで、ヒマワリもホウセンカも元気に成長してくれることでしょう。どんな花を咲かせてくれるのか、今からほんとうに楽しみです。

ひとつの言葉 ひとつの心 (5年生)

今週の学級会では、「言葉づかい」についてクラスで話し合いました。話し合いを進める中で、友だち同士でふだん使っている言葉が、適切でなかったり、乱れていたりすることに子どもたちは気付いたようです。

入学時からずっと1クラスで上がってきましたから、お互いのことをよく知っていて、姉妹のように「何でも言える」気心知れた友だち。しかし、だからといって「何を言ってもいい」わけではありません。特に人を傷つけたり、ばかにしたりする言葉は、どのような関係であっても使うことは許されません。また、そういった言葉は、思いやりのある人の口から出るはずのない言葉なのです。

学級会の終わりに、詩「ひとつの言葉」を読み味わい、話し合いを個々に振り返りました。ひとつひとつの言葉にこめられた‘自分の心’を大人の私たちも振り返り、‘きれいな言葉’‘やさしい言葉’を使うように心がけたいものです。

「ひとつのことば」

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を持っている

きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを 大切に
ひとつのことばを 美しく

学級会のふりかえり より

☆私はこの詩を読んでいつも使っている言葉を使い返りました。自分では正しい言葉を使っていると思っても、相手にどのように伝わっているか気になりました。相手の心をきずつけてしまうような言葉は使わないようにしたいです。相手の気持ちを考えて言葉を発していきたいです。(A.O)

☆私はこの詩が好きになりました。特に好きな部分は「ひとつのことばでなかなおり」です。けんかすることはあるけれど、きちんと自分の気持ちを伝えることができるのが、なかなおりの時です。自分が思っていることを相手の心にびびくように伝えることが大切だと思います。(K.S)

たくさんのごことを吸収！ 社会科見学 4年生



6月14日、宮ヶ瀬ダム・神奈川県総合防災センターに社会科見学に行ってきました。はじめに水とエネルギー館にて宮ヶ瀬ダムの働きや、ダムづくりについてビデオで学習。そして、いよいよダムの見学へ。

宮ヶ瀬ダムの高さは、156m。ダムの上部にいた私たちは、「インクライン」と呼ばれるミニケーブルカーに乗りダムの下へ向かいました。インクラインの旅はわずか4分間。4分間かけてダムの壁を横に見ながら下って行きました。インクラインの傾斜度はスキーのジャンプ台と同じ30度。急斜面を下りながら見る景色はとてもきれいなものでしたが、子どもたちからは時より悲鳴も。しかしあっという間の4分間。何事もなく無事到着です。到着後は、ダムの下からダムの壁を見上げるとその大きさに驚き歓声が上がりました。

この日はあいにくの雨でしたが、観光放流がはじまると雨も上がりました。4年生はどうやら晴れ女ようです！そして「ゴーゴー」とすさまじい勢いで放流されるところを見ることができました。また、放流によりあたり一面マイナスイオンのバールが。「たくさん浴びなくちゃ！」とまるで、お寺にある香炉の前に立っているかのような姿もありました。

観光放流を見た後は、水とエネルギー館で様々な体験活動を通して、水の働きを学びました。

卒業制作

毎日、児童が通る昇降口に、平成24年度卒業生の卒業制作が設置されました。素敵なステンドグラスが私たちを楽しませてくれています。みなさまも、ぜひご覧ください。



2013年度 公開行事

開催行事	日時	会場
児童作品展 かんれいっ子展	8月21日(水) ～8月26日(月)	飛鳥画廊 (小田原銀座通り)
白百合祭	9月7日(土) 9:30～15:00 9月8日(日) 9:30～14:00	本学園 入学・転学希望者 相談コーナー有り
クリスマス会	12月5日(木)	小田原市民会館
展覧会	2014年 2月22日(土) 2月23日(日)	本学園